

固体廃棄物貯蔵庫第11棟の工事進捗状況 (建築準備工事及びコンクリートプラント設置工事)

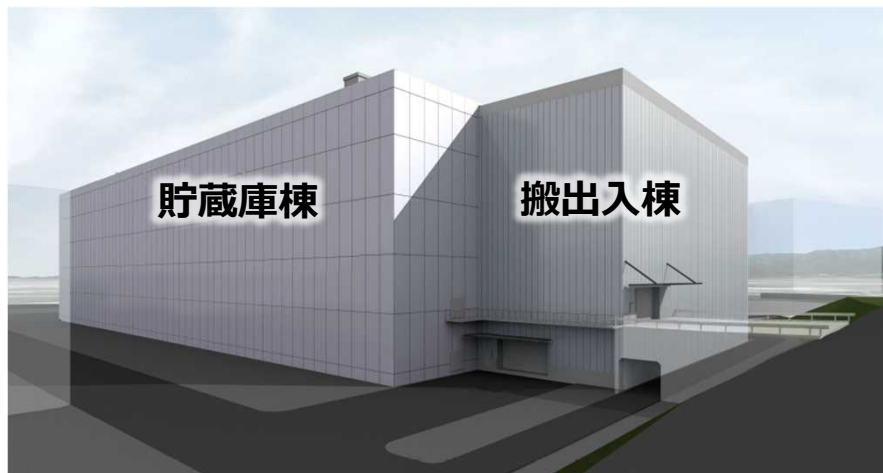
2026年3月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

固体廃棄物貯蔵庫第11棟 施設概要

- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟には、廃炉作業にて発生した瓦礫類、放射性固体廃棄物（焼却設備より発生する焼却灰等）について、容器に収納した状態で一時保管する。
- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟は廃棄物を保管する「貯蔵庫棟」と貯蔵庫棟への運搬を行うスロープを設けた「搬出入棟」で構成する。



<貯蔵庫棟 建物諸元>

構造種別	貯蔵庫棟：SC構造（鋼板コンクリート構造） （搬出入棟：S造（鉄骨造））
建築面積	約10,700㎡ （約127m(南北) × 約84m(東西)）
貯蔵階	地下1階+地上5階
建物高さ	地上 約33m
保管容量	約11.5万m ³



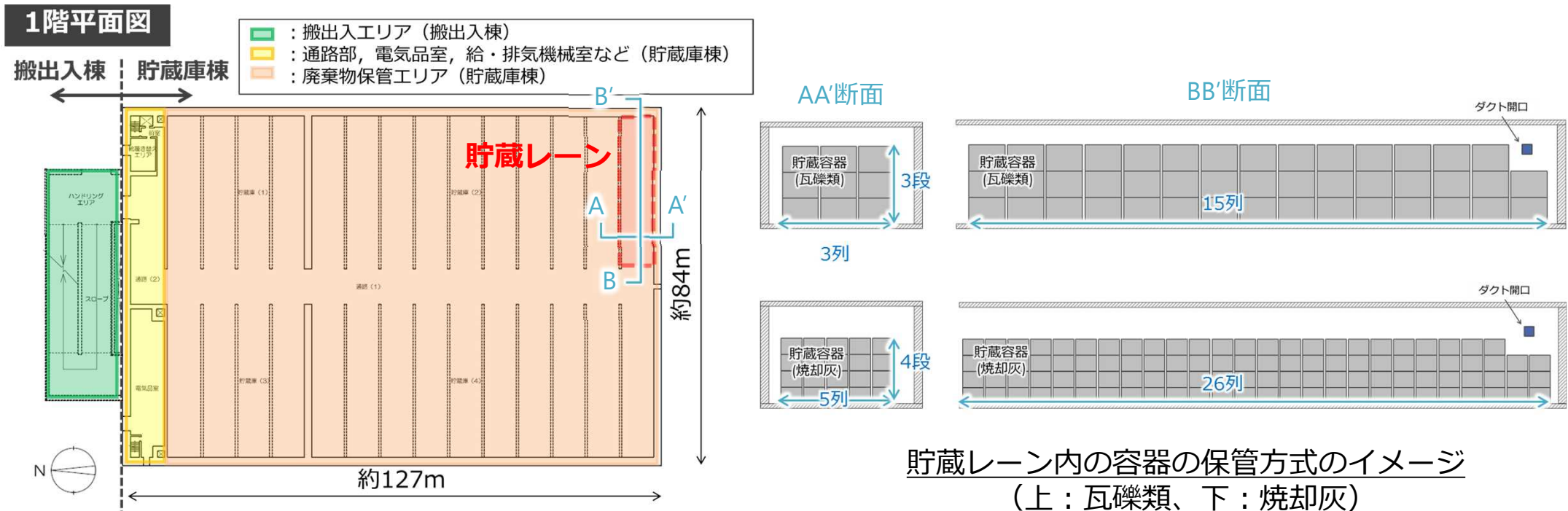
固体廃棄物貯蔵庫第11棟 保管計画

<保管対象物>

- 廃炉作業により発生する瓦礫類を、材質により可能な限り分別し、容器収納して保管。
雑固体廃棄物焼却設備、増設雑固体廃棄物焼却設備より発生する焼却灰を容器収納して保管。

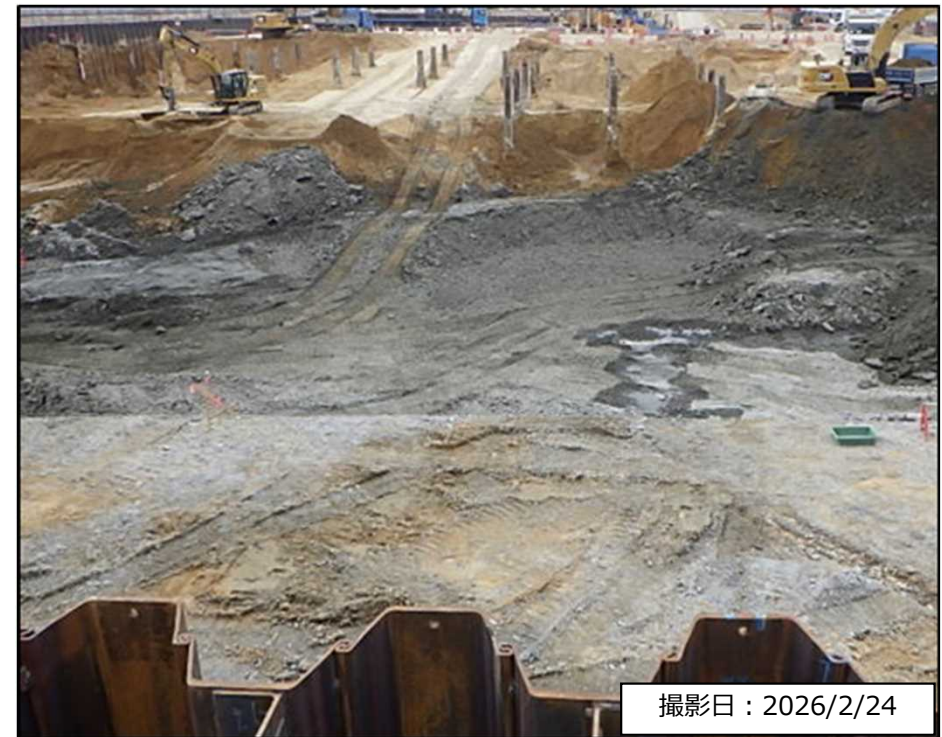
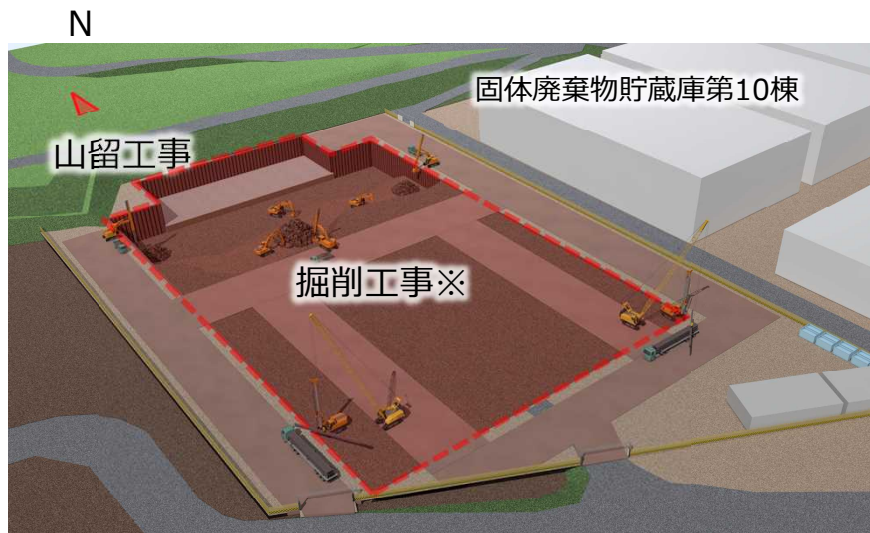
<保管方式>

- 地下1階・地上1階に高線量廃棄物（表面線量率1mSv/h超）、地上2~5階に低線量廃棄物（表面線量率1mSv/h以下）を保管。
- 貯蔵庫棟はレーン構造となっており、貯蔵容器は段積みで保管。



建築準備工事の状況

- 2025年10月6日に建築準備工事に着手し、現在、建物の基礎コンクリート工事に先立ち、建物基礎下（深さ約10m）の掘削工事中。
- 掘削工事が先行して完了する搬出入棟側から順次基礎工事に着手する計画。

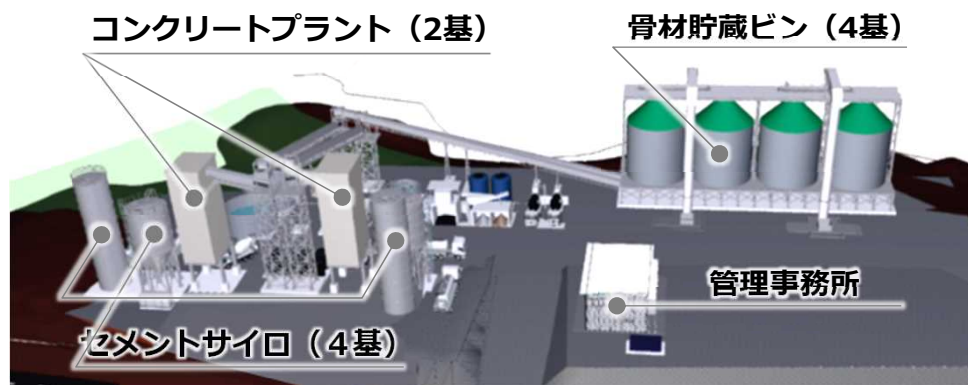


建築準備工事（山留・掘削工事等）イメージ

現場の状況（掘削工事）

コンクリートプラントの設置工事の状況

- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設工事では、大量のコンクリートを使用することから、福島第一原子力発電所近傍の当社敷地に建設中のプラントからコンクリートを供給する計画。
- 2025年2月12日にプラント設置工事に着手し、現在、コンクリートの品質や圧送方法を確認中。
- 2026年4月頃から固体庫11棟の搬出入棟の基礎工事に向けてコンクリート供給を開始予定。



コンクリートプラントのイメージ



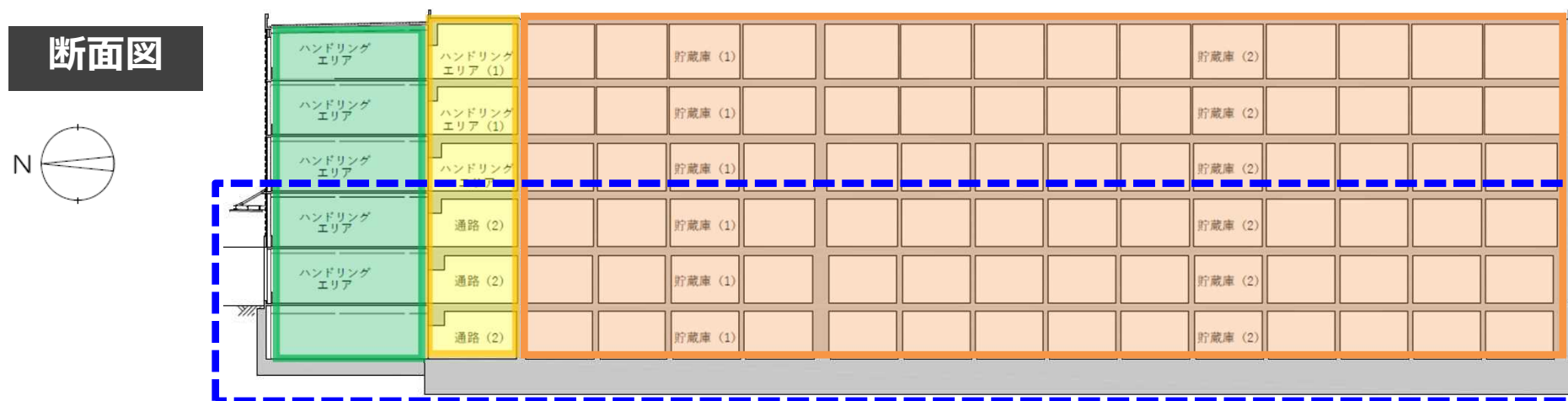
コンクリートプラント全景

- 2025年8月8日に施設設置に係る実施計画変更を申請し審査継続中。
- 2026年4月頃に固体庫11棟の搬出入棟の基礎工事に着手する予定。
- 早期の固体廃棄物の屋外一時保管解消に向けて、建屋の一部を先行して運用開始する計画であり、2027年度以降（2028年5月頃）に一部運用開始予定。
 * 一部竣工：2028年4月・全体竣工：2029年4月の計画

: 先行して一部運用開始するエリア（案）

※ 一部運用の範囲については詳細検討中

	: 搬出入エリア（搬出入棟）
	: 通路部，電気品室，給・排気機械室など（貯蔵庫棟）
	: 廃棄物保管エリア（貯蔵庫棟）



一部運用開始のイメージ